

令和6年

第6回岐阜市教育委員会定例会会議録

日時：令和6年5月29日（水）

午後1時30分から午後2時40分

会場：岐阜市役所10階 6－1大会議室

【教育長】

第35号議案について説明願う。

【事務局】

（第35号議案 岐阜市立義務教育諸学校教科用図書採択検討委員会委員の任免について説明）

【委員】

岐阜市以外は、全ての市町村が地区ごとに合同で行っていて、県内では岐阜市だけが独自で行っているということでしょうか。

【事務局】

県内6地域は、それぞれが地域の市町村と一緒に採択をしている。岐阜市だけが単独で採択している。

【委員】

岐阜市が他地域と違う教科書を採択する可能性があると思うが、それで現場の教職員が混乱するということはないか。

【事務局】

他市町村から異動してきた方については、長年使用したものではない教科書を使用する可能性があるので、戸惑いもあるが、様々な資料や、岐阜市のコンパスカリキュラムがあるので、それらを使用しながら、混乱なく進めることができている。

【委員】

コンパスカリキュラムについて、一般の教員が作成されているということで、大変な負担があるという話を聞いているが、そのあたりの声はどうか。

【事務局】

新たに教科書採択が行われた次の年には、その教科書を基にしたコンパスカリキュラムを作ることになるので、どうしても負担がある。ただし、教科書会社が出している指導案なども参考にしながら、できるだけ負担がないように作成して

いる。そのことを留意して、今年度も小学校版の改定を行う。

【委員】

全ての教員がそれに関わるのではなく、一部の教員だと思うが、配慮を引き続きお願いしたい。

【委員】

岐阜県内で他地区は地区内の市町村教育委員会で採択しているということだが結果として岐阜市で採択する教科書と、随分違う結果になるのか、ある程度情報交流があって、同じような結果になることが多いのか。

【事務局】

同じ教科書が採択されることが多く、大きく違うことはない。

【委員】

わずかに違う教科書というのは、教科は何か。

【事務局】

道徳と地図。

【委員】

いわゆる受験科目の教科書は、県内共通という捉えでよいか。

【事務局】

英語と数学が1地区ずつ、理科が2地区違う教科書を採択している。

【委員】

これはそれぞれ独自で採択されるのか、ある程度こういう方向性になりそうだという情報共有があるのか。

【事務局】

全くの独自。県が作成した資料があり、参考にするが、委員同士の交流は一切ない。

【教育長】

教科書の採択権は、市町村にある。採択する教科書は、全て文部科学省の検定を通過しており、どの教科書を使ってもきちんと指導できるという担保がされているので、市町村ごとバラバラでもいいわけである。ところが、かつては岐阜市も岐阜地区の中で共同採択をしており、同一でなくてもいいのではという意見が根強くあった。採択権が市町村にあり、中核市として調査研究もできるので、単独でやったほうが良いという動きが出て、岐阜市だけは岐阜地区の中で単独採択をしている。

ご指摘があったように、義務教育の根幹が機会均等と水準の維持と向上なので主たる教材としての教科書も岐阜県内同じでいいという考え方もある。しかし、

検定を受けている教科書なのでどれを使ってもいいし、各市町村が独自に調査研究をしているのならば、先生方の負担は多くなるが、岐阜市の子どもたちに一番ふさわしい教科書を選んでいくという動きがとれる。

【教育長】

よろしいか。なければここで採決する。

第 35 号議案について、原案のとおり決することにご異議ないか。

(「異議なし」の声あり)

【教育長】

第 35 号議案は原案の通り可決した。